

## 農村振興局長賞（被害防止部門（個人））

行政職員として「下北半島鳥獣被害対策市町村等連絡会議」の設立に携わり、広域的な被害対策の実施体制を主導。退職後は「NPO北限の野生動物保護管理センター」「北限のニホンザルネットワーク」を立ち上げ、ニホンザルの生息状況調査等を継続的に行っており、下北地域における被害対策に精力的に取り組み、被害額の大幅な低減に貢献。

やまざき ひではる  
山崎 秀春

主な取組

青森県むつ市

- 「下北半島鳥獣被害対策市町村等連絡会議」では、モンキードッグとハンドラー兼ニホンザル保護管理専門員の育成、各市町村への配置により、迅速かつ効果的な追い上げ・追い払いを実施するための体制整備に貢献。
- 山崎氏の指導を受けた西北地域の深浦町では、テレメトリー発信器を活用したニホンザルの群れ数、生息頭数、行動域の調査とGISを活用した調査結果の地図化により、ニホンザルが頻繁に利用する場所を特定し、群れの全頭捕獲を実施した結果、加害群の除去に成功。
- 鳥獣被害対策を継続的に取り組むことができる鳥獣保護管理専門員の育成と下北地域各市町村への配置に尽力。鳥獣被害対策実施隊等を対象とした研修会に積極的に協力し、ニホンザルの生態や生息域、被害対策等について教授することで、ニホンザル対策の知識・技術の向上に貢献。

【サルによる被害金額（下北地域）】

約420万円（活動開始時：平成19年度）→約64万円（令和4年度）